

2026年7月吉日
リープトンエネルギー株式会社

リープトンエネルギー 高効率太陽電池モジュール「LEAPシリーズ」を発売

リープトンエネルギー株式会社（代表取締役：周 鳴飛、本社：兵庫県神戸市）は、住宅用から産業用まで幅広い場面に最適な、高効率太陽電池モジュール「LEAPシリーズ」を2026年7月14日から発売いたします。

当社の高効率太陽電池モジュールは、高効率化と低損失化を実現する設計により、高い発電効率と実際の設置環境における安定した発電性能を実現しました。さらに、高出力化によるシステム全体の経済性向上や長期にわたる安定運用を実現し、お客様の投資価値向上に貢献します。

■高効率太陽電池モジュール「LEAPシリーズ」のメリット

(1) 同じ設置面積で最大25～35Wの高出力化を実現

LEAPシリーズは、従来モジュールと同等サイズでありながら、最大25～35Wの高出力化を実現しました。モジュール変換効率も向上し、限られた設置面積でもより多くの発電量を確保します。また、シングルド設計によりセル間の無効スペースを削減し、有効受光面積を約1.82%拡大。その効果だけで最大11W相当の出力向上に貢献しています。

(2) 「実発電量」を追求し、高温環境や部分影でも安定した発電を実現

LEAPシリーズは、セル変換効率だけでなく、実際の設置環境における「実発電量」を重視して開発しました。セルを細分化した構造によりホットスポットの発生リスクを低減するとともに、電流を均一に分散する回路構造により、部分影や高温環境下でも安定した発電性能を維持します。

(3) システム全体のコストを抑え、長期的な経済性を向上

高出力化により必要なモジュール枚数を削減し、BOSコストや施工工数の低減に貢献します。さらに、劣化率を抑えた設計により長期間にわたって安定した発電性能を維持し、LCOE（均等化発電原価）の低減と長期的な投資価値の向上を実現します。

当社では、自社工場生産による高性能かつコストパフォーマンスに優れた太陽電池モジュールや野立架台の製造をはじめ、太陽光発電システム搭載カーポート、パワーコンディショナなどの販売、自社発電所の開発など太陽光発電をトータルでご提案してまいります。

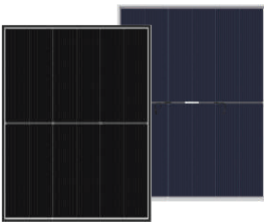
■仕様について

	型番	出力	寸法	質量	変換効率
両面発電	LP182*210-M-48Q-NB	👑おすすめ 475W	1762×1134×30mm	24kg	23.7%
		480W			24.0%
		485W			24.2%
	LP182*210-M-54Q-NB	👑おすすめ 535W	1961×1134×30mm	26.6kg	24.0%
		540W			24.2%
		545W			24.5%
	LP182*210-M-66Q-NB	👑おすすめ 655W	2382×1134×30mm	32.2kg	24.2%
		660W			24.4%
		665W			24.6%

両面発電

LP182*210-M-48Q-NB(両面ガラス)

出力範囲 **475-485W** Bifacial Dual Glass



■電気の仕様



	475W	480W	485W	両面係数 (Bifaciality)
公称最大出力	475W	480W	485W	85±5%
公称開放電圧	36.58V	36.83V	37.08V	
公称短絡電流	15.93A	15.98A	16.03A	
公称最大出力動作電圧	31.05V	31.17V	31.29V	
公称最大出力動作電流	15.30A	15.40A	15.50A	
モジュール変換効率	23.7%	24.0%	24.2%	
実行変換効率(J-PEC基準)	25.4%	25.7%	26.0%	

※標準試験条件(STC:放射照度1000W/m²、分光分布AM1.5、モジュール温度25°C)における値

■両面発電データ

	529W	534W	540W
公称最大出力	529W	534W	540W
公称開放電圧	36.68V	36.93V	37.18V
公称短絡電流	17.75A	17.82A	17.87A
公称最大出力動作電圧	31.16V	31.27V	31.40V
公称最大出力動作電流	16.98A	17.08A	17.20A

※BNP条件下(表面1000W/m²、裏面135W/m²)において、表面出力に裏面発電が追加された場合の値。

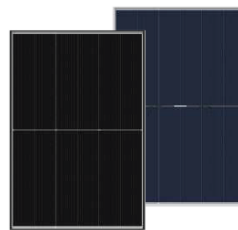
※裏面発電の増加率は設置環境により異なります。

両面発電

LP182*210-M-54Q-NB(両面ガラス)

出力範囲 **535-545W**

Bifacial Dual Glass



■電気的仕様

👑おすすめ

公称最大出力	535W	540W	545W	両面係数 (Bifaciality)
公称開放電圧	41.21V	41.43V	41.65V	85±5%
公称短絡電流	15.96A	16.02A	16.07A	
公称最大出力動作電圧	34.95V	35.07V	35.21V	
公称最大出力動作電流	15.31A	15.40A	15.48A	
モジュール変換効率	24.0%	24.2%	24.5%	
実行変換効率(J-PEC基準)	25.5%	25.7%	25.9%	

※標準試験条件(STC:放射照度1000W/m²、分光分布AM1.5、モジュール温度25℃)における値

■両面発電データ

公称最大出力	595W	601W	607W
公称開放電圧	41.31V	41.53V	41.75V
公称短絡電流	17.79A	17.85A	17.92A
公称最大出力動作電圧	35.04V	35.17V	35.32V
公称最大出力動作電流	16.98A	17.09A	17.19A

※BNPI条件下(表面1000W/m²、裏面135W/m²)において、表面出力に裏面発電が追加された場合の値。

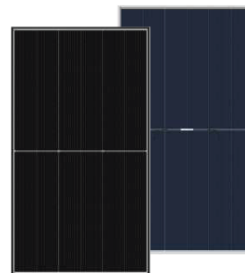
※裏面発電の増加率は設置環境により異なります。

両面発電

LP182*210-M-66Q-NB(両面ガラス)

出力範囲 **655-665W**

Bifacial Dual Glass



■電気的仕様

👑おすすめ

公称最大出力	655W	660W	665W	両面係数 (Bifaciality)
公称開放電圧	50.46V	50.64V	50.82V	85±5%
公称短絡電流	16.04A	16.10A	16.15A	
公称最大出力動作電圧	42.73V	42.86V	42.99V	
公称最大出力動作電流	15.33A	15.40A	15.47A	
モジュール変換効率	24.2%	24.4%	24.6%	
実行変換効率(J-PEC基準)	25.5%	25.7%	25.9%	

※標準試験条件(STC:放射照度1000W/m²、分光分布AM1.5、モジュール温度25℃)における値

■両面発電データ

公称最大出力	729W	735W	740W
公称開放電圧	50.56V	50.74V	50.92V
公称短絡電流	17.88A	17.94A	18.01A
公称最大出力動作電圧	42.83V	42.96V	43.10V
公称最大出力動作電流	17.02A	17.11A	17.17A

※BNPI条件下(表面1000W/m²、裏面135W/m²)において、表面出力に裏面発電が追加された場合の値。

※裏面発電の増加率は設置環境により異なります。

■リープトンエナジー株式会社について

会社名	リープトンエナジー株式会社（Leapton Energy Co.,Ltd）
設立年月	2012年7月
資本金	4億9,999万円
本社所在地	兵庫県神戸市中央区相生町1丁目2番1号 東成ビルディング6 F
事業内容	太陽光発電システムの開発・販売 太陽電池モジュールの製造・販売 太陽光発電システム取付部材（架台・基礎杭）の製造・販売 太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス
ホームページ	http://www.leaptonenergy.jp